

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点					
1	1	(1)	楽曲名	剣の舞	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6				
			作曲者名	ハチャトゥリャン						
		(2)	楽曲名	ハバネラ			内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6		
			作曲者名	ビゼー						
		(3)	楽曲名	結婚行進曲					内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6
			作曲者名	メンデルスゾーン						
	2	(1)	熱情的に		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 2 × 6				
		(2)	brillante							
		(3)	歌うように							
		(4)	表情豊かに							
		(5)	荘厳に							
		(6)	おどけて							
	3	(1)	詩の各節が同じ旋律を繰り返すように作曲された歌曲。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 6				
		(2)	詩の各節に新しい異なった旋律が付けられる歌曲。							
		(3)	内容的にも性格的にも相互に関連のあるいくつかの歌 曲が一定の順序で配列されて、全体でひとつの音楽的ま とまりをもっているもの。							
		(4)	4小節ずつの前楽節と後楽節でできている形式。							
		(5)	2つの部分（A、B）からなる形式。							
		(6)	3つの部分からなる形式。このうち、第1部と第3部は 同一、あるいは類似した性格をもつ。							
	4	(1)	(ウ)			各 2 × 3				
		(2)	(カ)							
		(3)	(ア)							

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号			正 答 〔例〕		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	5	(1)	作品が作曲された当時の形状に復元された楽器のこと。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	3	6 1
		(2)	①	木製で、指孔を押さえて様々な高さの音を出す、横笛式 のフルート。	内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	各 3 × 4	
			②	西洋梨を縦に割ったような共鳴胴と、そこから張り出 した棹をもつ、複弦の撥弦楽器。			
			③	ヴィオール属の中で最も低い音域をもつ弓で演奏する 楽器。フレットが付く。			
			④	16～18 世紀に最も栄えた鍵盤楽器。鍵盤をたたくと、 弦が爪で弾かれて音が出る仕組みになっている。			
		(3)	①	(ア)		各 2 × 3	
			②	(エ)			
			③	(カ)			
		6	※ 別紙 (計 1 枚)		問いを正しく捉えてい れば、内容は異なってい てよい。	4 0	
	2	1	旋律を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受 したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表 現意図をもっている。		内容を正しく捉えてい れば、表現は異なってい てもよい。	5	

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点	
2	題材名（追分様式の表現に関心をもち、特徴を生かして歌おう）	題材名及び学習活動は、問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	50	
	時間 1			学習活動 ○「南部牛追歌」の音の延ばし方や間の取り方に関心をもち。 ・地域の演奏家による「ソーラン節」、「南部牛追歌」の演奏を聴いて印象などを自由に話し合う。 ・「南部牛追歌」の背景について教師の説明を聞く。 ・「南部牛追歌」について、楽譜を見ながら、地域の演奏家による演奏を聴いたり、地域の演奏家と一緒に歌ったりして、旋律の特徴を捉える。 ・捉えた特徴を全体で発表し合う。 ・発表し合った「南部牛追歌」の旋律の特徴を、実際に歌って確認する。 ・「南部牛追歌」の旋律について気付いた特徴をワークシートに書く。 ・地域の演奏家と一緒に体を動かしながら「南部牛追歌」を歌う。
	2			○第1時の学習を想起して「南部牛追歌」を歌う。 ・地域の演奏家と一緒に「南部牛追歌」を歌う。 ・前時に書いたワークシートを見て、「南部牛追歌」の旋律について気付いた特徴を想起し、再度体を動かしながら「南部牛追歌」を歌う。 ○「南部牛追歌」の旋律を知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考える。 ・地域の演奏家による「ソーラン節」「南部牛追歌」を聴き比べたり、実際に歌い比べたりしながら、それぞれの音の延ばし方や間の取り方について気付いた特徴を発表し合う。 ・民謡の「南部牛追歌」の特徴を生かすための発音や節回しなどについて、他の生徒や地域の演奏家と歌い試しながら話し合う。 ・民謡の「南部牛追歌」の音の延ばし方や間の取り方が生み出す特質や雰囲気を生かしてどのように歌うかについての表現意図をワークシートに書く。 ・ワークシートに書いたことを発表し合い、ペアやグループで歌い試しながら自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。
3	○創意工夫を生かして「南部牛追歌」を歌う。 ・第2時で取り組んだ歌唱表現の創意工夫を想起しながら、「南部牛追歌」を歌う。 ・地域の演奏家が提示するコブシ、発声法などを様々な試しながら「南部牛追歌」を歌う。 ・ペアやグループでどのように歌うかについての表現意図を再確認するとともに、考えが変わったりより具体的になったりしたところがある場合は、ワークシートに加筆する。 ・表現意図をもって「南部牛追歌」を歌う。 ・地域の演奏家と一緒に「南部牛追歌」を歌い、題材における学習を振り返ってワークシートに書く。			

高等学校芸術科（音楽）採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	創作表現を創意工夫する場面では、他者と関わりながら学習を進めることが効果的だと考えられる。例えば、つくっている音楽を表したいイメージに近づけていく過程で、互いの発想や見通しを伝え合ったり、つくっている音楽の構造とそこから生まれる特質や雰囲気との関わりについて確かめ合ったりすることで思考が深まっていくことがある。このように、指導のねらいや生徒の実態に応じて、適切にグループ活動を取り入れたり、作品を相互評価する場面を設けたりすることも有効である。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	5	11
	2	拍子を3拍子に変えたり、旋律に装飾的な音を加えたり、長調の旋律を短調に変えたりするなど、「きらきら星」の旋律を基にして、それに変化をもたせながら創作していくこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	
4	1	① 学校や地域の実態 ② アジア地域の諸民族		各 2 × 2	19
	2	雅楽、仏教音楽、琵琶楽、能楽、三味線音楽、箏曲、尺八音楽、神楽 など	5つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 5	

1

6

著作権保護の観点により、掲載いたしません。